

学校評価に関するアンケート調査について(回答に対する御礼)

学校評価に関するアンケートにご協力ありがとうございました。皆様から頂きました 回答結果は、今後の学校教育経営に活かして参りたいと思います。

令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策に振り回された一年でした。多くの行事が中止やリモート、資料配付のみなどで実施という形になってしまいました。しかし、日頃の保護者の皆様のご理解とご協力によって、今年度も無事に終わりを迎えようとしています。

誠にありがとうございました。

自由記述で頂いたご意見・ご要望は、すでに各コース・学年団で共有し、それぞれ動くべき対応をとっております。また、次年度の企画運営に向けて、学校全体に関すること、コースに関すること、個別に対応すべきことに分類して、共有・検討もし、次年度の経営案に反映させ、次年度以降のよりよい学校づくりの参考とさせていただきます。ありがとうございました。

聖ウルスラ学院英智高等学校

校長 伊藤 宣子

<各コースより>

◎特別志学コース Type1

評価につきましては、おおむね「あてはまる」「ややあてはまる」が多い中で、設問3の「保護者と連携した教育推進」がやや低い結果となりました。コロナ禍で保護者会なども思うように開催できない中でしたが、子どもに対する教育がどのように行われているか、ご家庭でもさぞかしご心配だったと推察いたします。今後は機会を捉えて、本コースの教育内容や活動について、周知していきたいと考えています。また、設問11「18歳成人年齢を意識した教育が行われていることを子どもから感じている」につきましても、やや低い結果となっております。Type1 では、卒業後全国各地の大学に進学していく生徒が多い中で、学力面だけでなく、精神的、人間的な成長が欠かせません。生徒個々人の人間性を涵養すべく、自律した行動ができるよう日々の教育を行ってまいりましたが、今後はいっそう力を入れていく所存です。

他にも本コースの教育に対しまして、自由記述欄にて、さまざまなご意見・ご要望をいただきました。誠に感謝申し上げます。コース全体で検討の上、次年度以降のよりよい運営の一助として、役立てていきたいと思っております。生徒たちには、より充実した学習環境のもとで、楽しく学校生活を営んで欲しいと願っています。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

特別志学コース Type1

コース長 鎌田 聡

◎特別志学コース Type2

学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございます。Type2コースの回答結果は、今後のコース経営に活かしていきたいと思っております。

令和4年度では、まだまだ感染防止対策の制限がありましたが、昨年、一昨年に比べ、各種行事が実施できた一年だったと思います。高校2年生では、コロナ禍での新しい企画である国内探究研修を実施することができました。観光や自由行動とは異なった、企業への企画提案プレゼンという探究活動だったため、生徒はかなりの緊張感と疲労感があったことと思います。保護者の皆様におかれましても、活動についての情報提供が直前となってしまう、ご心配やご不安をおかけしましたことを心苦しく思っております。また、完全な通常生活への再開はできておりませんが、日ごろの保護者の皆さまのご理解とご協力によって、今年度も終わりを迎えようとしています。ありがとうございました。

自由記述欄でいただいたご意見・ご要望は、次年度の企画運営に向けて、学校全体に関する事、コースに関する事、校則・学校生活に関する事、に分類して、共有・検討をしています。次年度以降のよりよい学校づくり、コースづくりの参考とさせていただきます。ありがとうございました。

特別志学コース Type2

コース長 阿部 仁

◎尚志コース

尚志コースではどのアンケート項目においても、肯定的な解答(「あてはまる」「ややあてはまる」の解答)が8割を超えており、おおむね良い評価をいただいていると考えている。その中においても少数の否定的な解答から、取り組むべき改善点を見出していき、今後のより良い教育活動につなげていきたい。

[設問1]『本校の教育目的・教育目標についての共感』に関しては、93%の保護者から肯定的な解答をいただいております。今後も本校の教育に対する高い期待に答えていくことができるよう真摯に取り組まなければならないと考えています。その中で、[設問3]『学校と保護者との連携』では、1割強程度であるが否定的な解答がある。これまでも尚志コースでは、保護者との連携強化を目標に取り組んできたが、尚志コースで生徒に持たせているクロームブックのクラッシーのさらなる活用も含めて更なる連携をはかっていきたい。[設問4]『子ども一人一人の個性や資質を大切にされた教育活動』の項目においても約1割の否定的な解答をいただいた。今後も、各クラス担任を中心に、部活動に所属する生徒が多いことから部活動顧問の教員と、各保護者とのより丁寧な連絡・連携が求められると考えている。また、[設問8]『教育環境が整っている』の項目においても、5分弱の否定的な解答をいただいた。尚志コースでは、学ぶ場としてふさわしい環境整備についてこれまでも取り組んできたが、さらに細やかな注意をはらい学びの場としてふさわしい環境整備にあたっていく必要があると考えている。さらに、[設問 11]『18 歳成人年齢を意識した教育が行われていることを子どもから感じている』の項目では約 4 割の否定的な解答をいただいた。昨年度も同じ傾向が見られた。次年度の改善を推進いたします。[設問 12]『子どもは主体的・能動的に学習を行っている』の項目では、1割強の否定的な解答をいただいている。このことから、次年度においてはさらに、教科担当者との情報共有を密にして、学習を中心とした生徒たちの学びを支えていきたい。

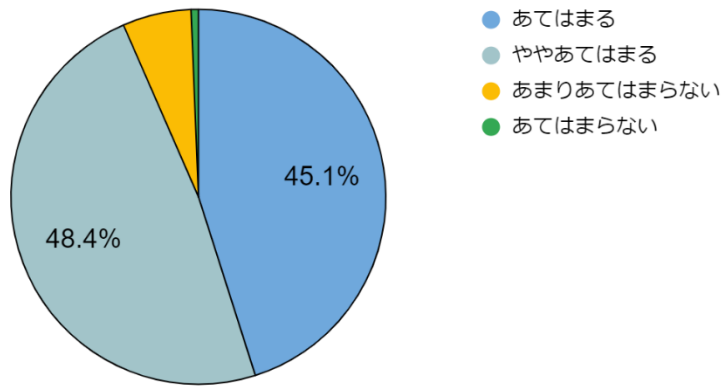
尚志コース

コース長 喜古 康

令和4年度学校評価アンケート結果(全体)

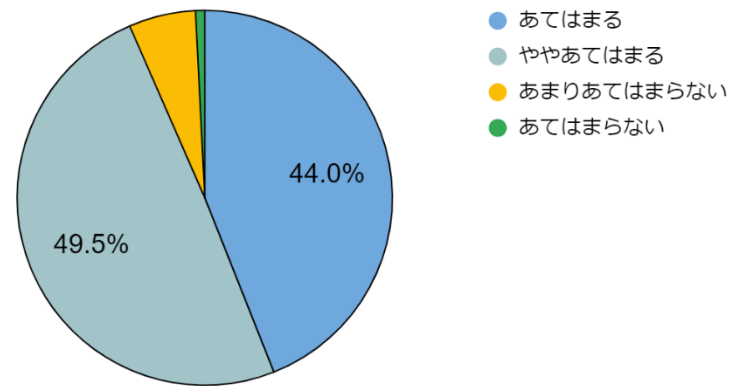
設問1【教育目的・目標】

本校の教育目的「キリスト教的人間観に基づく人格形成」や、教育目標「愛・自由・挑戦・志」が身につく、成長を感じられる学校である。



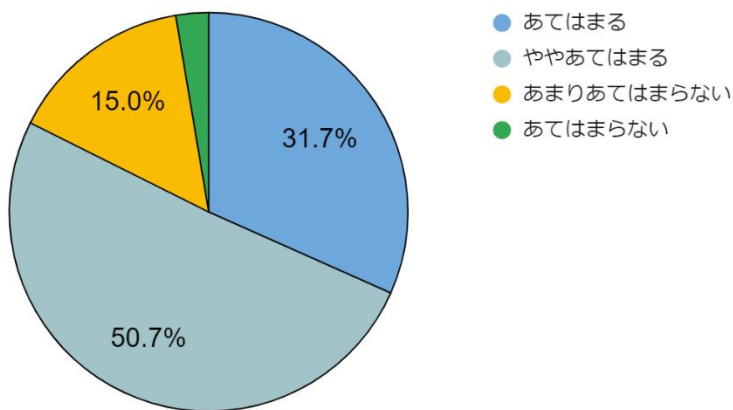
設問2【教育全般】

子どもが主体的に学び、考えることで、論理的な思考力や応用力を育成するための授業が工夫・実践されている。



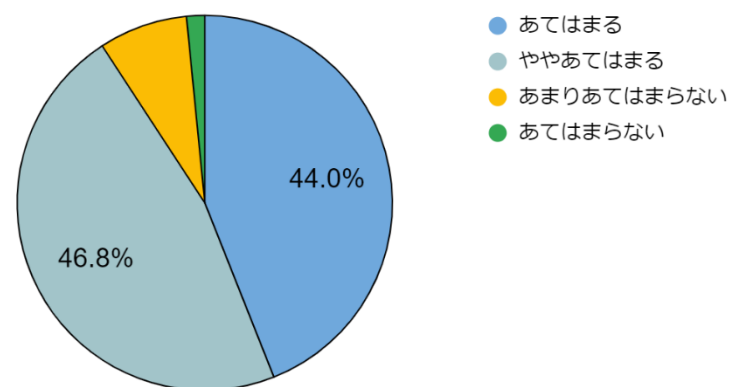
設問3【教育全般】

本校は、保護者と連携した教育を推進している。



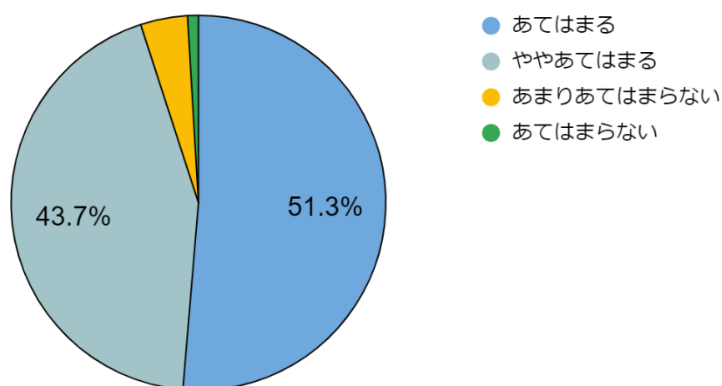
設問4【教育全般】

本校は、子ども一人一人の個性や資質を大切にした教育活動を行っている。



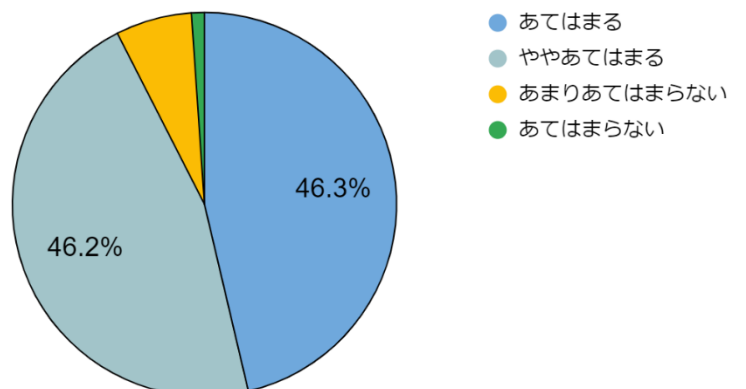
設問5【教育全般】

本校は、子ども自身が主体的に将来の進路を考え選択する力を育んでいる。



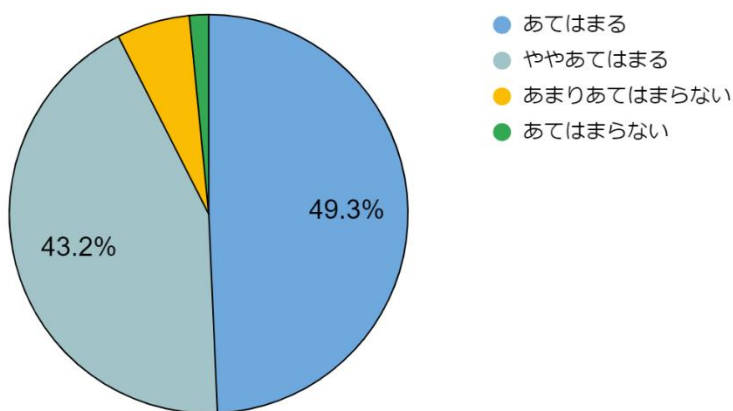
設問6【情報提供】

本校は、各種のオリエンテーションや講演会・面談を通して、進路選択や進路希望表現のために有効な情報や資料が、子どもや保護者に適切に提供されている。



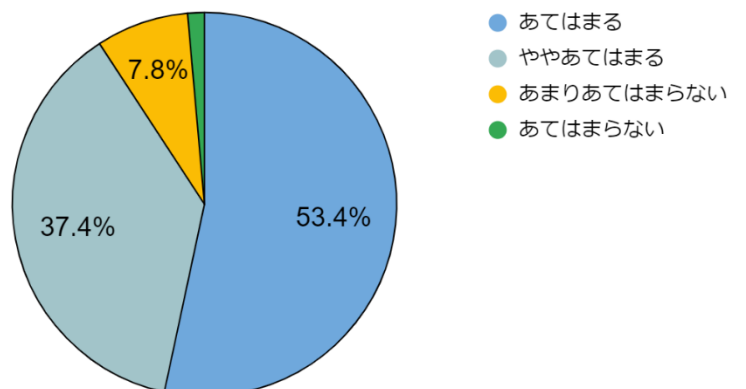
設問7【健康管理・安全指導】

生徒の健康管理や安全面に関する指導が適切に行われている。



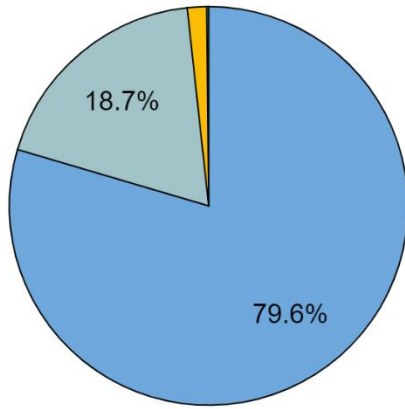
設問8【教育環境】

教室（クラスルーム・各教科室）、体育施設、聖堂、グラウンド等が整備され、教育機器が充実し、子どもが活動できる教育環境が整っている。



設問9【教職員の対応】

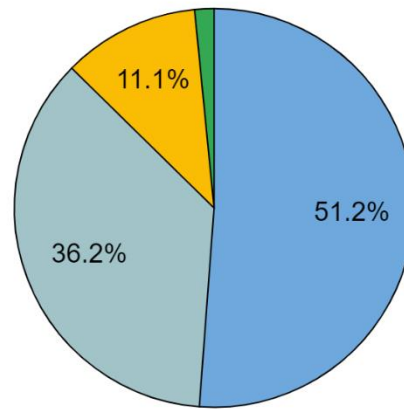
電話の応対や来校時における教職員の接し方は、丁寧かつ適切である。



- とてもはまる
- ややとてもはまる
- あまりとてもはまらない
- とてもはまらない

設問10【日常生活】

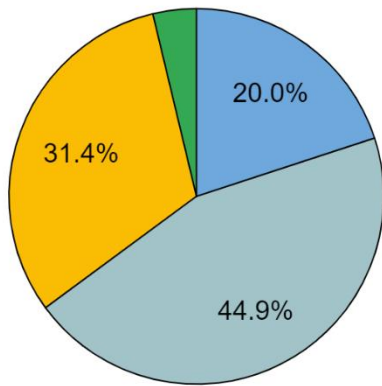
日頃の子どもの話から、学校の様子が伝わってきている。



- とてもはまる
- ややとてもはまる
- あまりとてもはまらない
- とてもはまらない

設問11【日常生活】

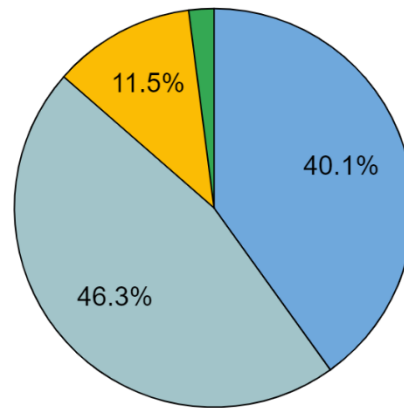
18歳成人年齢を意識した教育が行われていることを子どもから感じている。



- とてもはまる
- ややとてもはまる
- あまりとてもはまらない
- とてもはまらない

設問12【学習への姿勢】

子どもは主体的・能動的に学習を行っている。



- とてもはまる
- ややとてもはまる
- あまりとてもはまらない
- とてもはまらない

その他、コース毎の集計結果についてお知りになりたい方はご連絡ください。